

令和5年度  
学校関係者評価報告書

令和6年4月  
学校法人すみれ学園  
四国医療福祉専門学校

## 1 学校関係者評価委員

### 委員

- 野崎 泰博 委員長(元高等学校校長)
- 山口 吉英 委員 (特別養護老人ホーム愛生苑 施設長)
- 山田 能之 委員 (医療法人社団叶夢会 やまだ歯科クリニック 事務長)
- 小野 茂男 委員 (医療法人社団海部医院 透析室室長)
- 神原 良宏 委員 (本校卒業生)
- 中山 照枝 委員 (本校在校生保護者)

### 学校

- 森 國夫 (校長)
- 小西 明弘 (事務課長)
- 鎌田 綱 (介護福祉学科)
- 定木 啓至 (医療事務学科学科長)
- 西岡 幹人 (臨床工学学科学科長)
- 水井 資道 (広報課長) (計12名)

### 事務局

- 小西 明弘(事務課長)、水井 資道(広報課長)

## 2 学校関係者評価の実施方法、公表

学校関係者評価の実施にあたっては、学校関係者評価委員に自己点検評価の結果を各担当者より説明し、評価結果についてご意見をいただきました。いただいたご意見を本報告書の中に取りまとめ、今後の教育活動や学校運営の改善に活かし、教育の向上に努めることとし、ホームページに公表致します。

## 3 学校関係者評価委員会 開催日時

令和6年3月20日(水曜日) 10時00分～11時50分 本校5階会議室

- 1.校長挨拶及び趣旨説明 森 國夫校長
- 2.学校関係者評価委員紹介 事務局
- 3.学校関係者紹介 事務局
- 4.自己評価概要説明
- 5.意見交換

自己点検評価の説明について、質疑応答や改善点の提案等について意見交換(別紙参照)

- 6.閉 会

## 別紙

## 令和5年度 学校関係者評価委員会 質疑応答・意見内容

発言者	内容
森校長	令和6年4月より文部科学省より職業実践専門課程の認定、介護福祉学科に令和6年4月より初の留学生(ミャンマー国籍4名)を受入することの報告
鎌田学科長代理	自己評価報告書に基づき、令和5年度の評価項目の教育活動、学修成果、学習支援、教育環境、社会貢献・地域貢献について説明。また学生生活アンケートの結果の概略報告(授業内容についての大きな不満などは見られない点、スポーツ大会、遠足開催の希望があり、実施する方向で進めていく。)
山口委員	学生の皆さんが地域の中で交流がはかられ、それに伴い就職活動の視野を広げられたことは素晴らしいことである。退学者について1年次前期の関わり方が課題である説明があったが、そのような時期の退学者が多いのか。
鎌田学科長代理	退学した時期は全員が9月以降であるが、退学を考え始めた時期は1年時の前期であるようなので、入学直後の時期の人間関係の築き方、学生への寄り添い方などを工夫する必要があると考えている。
神原委員	学生個人の希望、意欲などをきちんと把握することが大切ではないか。学生自身が将来どうありたいかという目標を明確にすることが大切ではないか。
中山委員	私の娘は進学先を決める際にも、就職先を決める際にも自分がオープンキャンパスや施設見学会などに参加して、自分の目で見て進路を決めた。そして無事に卒業を迎え、職場でも頑張っている。自分の将来をきちんと見据えた状態で進路決定できるようにすることが大切ではないかと感じている。
	※介護福祉学科の評価項目の教育活動、学修成果、学習支援、教育環境、社会貢献・地域貢献の自己評価と関係者の評価は同じ。
定木学科長	自己評価報告書に基づき、令和5年度の評価項目の教育活動、学修成果、学習支援、教育環境、社会貢献・地域貢献について説明。また学生生活アンケートの結果の概略報告(検定試験、課題に取り組み中でストレスを感じる学生もいるので、遠足、ボウリング大会などのイベントを実施することにより、メリハリをつけながら学科運営を行っていく。)
山田委員	医療事務に対する需要は増えているのだが、目指す方が少なくなってきたと聞き、大きな病院への就職を希望するのかなと思っている。歯科事務、介護事務を目指す方は少ないことは若い方の傾向だと感じている。 多くの検定試験を2年間で合格されていることは素晴らしいことである。 最近はパソコンを用いて、医療費の計算を比較的容易に行うことができる。しかし、しばしば入力する数字が間違っている場合もあり、差し戻されることがあるが、それを確認する業務はある程度の経験がないと難しい。これからも専門的な知識を持ったスタッフの確保が課題である。

定木学科長	<p>医療事務学科の入学者数は減少傾向であるが、求人数は増加傾向にある。減少の要因としてはコロナ禍であったこと、短期間での検定取得については魅力に感じる学生もいる一方で、負担に感じる学生もおり、そういった評価が外部に伝わったことではないかと考えている。今後は力をつけてもらうことは維持しながらも、負担も軽減させることを両立しながら学科運営を行って行きたい。</p> <p>就職希望先については、病院・クリニックを6～7割が希望している。歯科事務はアシスタント業務があり、外部講師の方による講習を受講させることにより、入学当初に比べると増加する傾向にはあるので、今後はさらにそういった講習を充実させていきたい。</p> <p>※医療事務学科の評価項目の教育活動、学修成果、学習支援、教育環境、社会貢献・地域貢献の自己評価と関係者の評価は同じ。</p>
西岡学科長	<p>自己評価報告書に基づき、令和5年度の評価項目の教育活動、学修成果、学習支援、教育環境、社会貢献・地域貢献について説明。また学生生活アンケートの結果の概略報告(新カリキュラムの運用状況の報告)</p> <p>※臨床工学学科の評価項目の教育活動、学修成果、学習支援、教育環境、社会貢献・地域貢献の自己評価と関係者の評価は同じ。</p>
小野委員	<p>働き方改革による影響で臨床工学技士の業務が増加し、保守業務の割合が減り、臨床業務が増加した。そういったこともあり、臨床工学技士としての衛生観念を向上させることが必要である。我々も実際に看護師の方から講習を受けて、随分向上したと感じている。ぜひ在学中のカリキュラムにも衛生観念の向上をテーマにしたものを入れて欲しい。</p>
水井課長	<p>自己評価報告書に基づき、評価項目の学生募集と受け入れについて説明。(次年度の入学予定者数、山田委員より指摘のあった医療事務を目指す学生が全国的に減少している要因について、広報担当者の立場から説明)</p> <p>※評価項目の学生募集の自己評価と関係者の評価は同じ。</p>
小西課長	<p>自己評価報告書に基づき、評価項目の財務、法令等の遵守について説明</p> <p>※評価項目の財務、法令等の自己評価と関係者の評価は同じ。</p>
森校長	<p>自己評価報告書の評価項目の総括を行う</p> <p>※評価項目の総括の自己評価と関係者の評価は同じ。</p>
山口委員	<p>介護福祉学科に外国人留学生を受け入れることになったことは良かった。福祉施設でも外国人の方と仕事をすることが当たり前になっており、意識の高い外国人の方と仕事をすることで、プラスの影響も出ている。ぜひ日本人学生の方との交流を行って欲しい。</p>

山田委員	学生支援の有り方も時代の変化に合わせて変えていかなければならないと思う。歯科の現場でも矯正する器具を一つ取っても進化してきており、それに合わせて歯科助手の方の業務内容も変わってきている。このように専門的な医療知識も求められる時代になるのではないかと考えており、現場実習でもそのような知識に触れる機会を作ってはどうかと考えている。
小野委員	臨床工学技士の業務はさらに拡大していくと思われる。そういった現場の状況にも対応できるような学生を養成して欲しい。
神原委員	福祉の現場における今後の更なる人手不足を懸念している。この学校は学生一人一人のニーズに沿っていると思うので、これからのより良い人材を輩出して欲しい。
中山委員	やはり学校選びも職場選びも、そこにいる人がどのような方なのかによると感じている。社会人となり夜勤もある中で大変なこともあるが、現場の方の人間性が良くて恵まれていると感じている。また、在学中には実習日誌をたくさん書いたが、このことが就職後に色々な報告書を書くことにも活かされている。自分の言いたいことを伝えられるようにすることが大切ではないか。
野崎委員長	各委員からの提言を学校運営に活かしてほしい。関西圏の四年制大学への入学もしやすくなり、地方の大学、専門学校にとっては死活問題であろう。どのように魅力を発信できるのかがより大切であり、退学させずに最後まで面倒を見てくれること、パワハラやアカハラへの対策が進んでいること、リカレント教育を通じての社会貢献することなどを重視して欲しい。
森校長	本日、いただいた提言を活かして、今後も学校運営を行っていきたいと考えている。最後に感謝申し上げて閉会としたい。

評価項目の集計結果（適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）

(1) 教育理念・目的・育成人材像

評価項目	自己評価	関係者評価
・教育理念・目的・育成人材像は、定められている。	4	4
・社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いている。	4	4

(2) 学校運営

評価項目	自己評価	関係者評価
・運営方針は教育理念等に沿ったものになっている。	4	4
・事業計画を作成し、執行している。	4	4
・組織運営は適切に行われている。	4	4
・人事・給与に関する制度を確立している。	4	4
・業務の効率化を図っている。	4	4

(3) 教育活動

評価項目	自己評価	関係者評価
・教育理念、育成人材像に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されている。	4	4
・教育課程（カリキュラム）は、明文化されている。	4	4
・キャリア教育・職業教育を実施している。	4	4
・授業改善のための取組みが行われている。	4	4
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっている。	4	4
・成績評価等を適正に行っている。	4	4
・資格・免許取得のためのカリキュラムを組んでいる。	4	4
・資格・免許取得のための指導体制がある。	4	4
・資格・要件を備えた教員を確保している。	4	4
・教員の能力向上に向けた取組みを行っている。	4	4
・地域と協力、連携した教育を行っている。	4	4
・地域の特性を活かした教育を行っている。	3.7	3.7

(4) 学修成果

評価項目	自己評価	関係者評価
・資格・免許取得率の向上が図られている。	4	4
・就職率の向上が図られている。	4	4
・香川県内、関連業界への就職が図られている。	4	4

#### (5) 学習支援

評価項目	自己評価	関係者評価
・ 退学率の低減が図られている。	3.7	3.7
・ 就職等進路に対する支援体制は整備されている。	3.7	3.7
・ 就職等進路に関する教育・指導を行っている。	4	4
・ 学生相談に関する体制は整備されている。	4	4
・ いじめ等の防止・対応のための体制は整備されている。	4	4
・ 学生に対する経済的な支援体制は整備されている。	3.7	3.7
・ 学生の健康を担う組織体制はある。	4	4
・ 生活環境支援体制を整備している。	4	4
・ 保護者・保証人との連携を図っている。	4	4
・ 卒業生の動向を把握している。	3.7	3.7
・ 卒業生への支援体制を整備している。	3.3	3.3
・ 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備している。	3.3	3.3

#### (6) 教育環境

評価項目	自己評価	関係者評価
・ 教育上、必要、かつ十分な種類・数の施設・整備がされている。	4	4
・ 校外の実習、インターンシップ、海外研修等について、十分な教育体制を整備している。	4	4
・ 防災・安全管理に関する体制を整備している。	4	4
・ 防災訓練等を実施している。	4	4

#### (7) 学生募集と受入れ

評価項目	自己評価	関係者評価
・ 学生募集活動を積極的、かつ、効果的に行っている。	4	4
・ 授業料等納付金の取扱いは適切に行われている。	4	4
・ 社会人入学生の獲得に向け、対策を講じている。	3	3

#### (8) 財務

評価項目	自己評価	関係者評価
・ 学校及び設置者の収支、財政基盤は安定している。	4	4
・ 予算は計画に従って適切に執行されている。またそれを確認している。	4	4
・ 会計監査、財務情報公開が行われている。	3	3

(9) 法令等の遵守

評価項目	自己評価	関係者評価
・専修学校設置基準・各種学校規程及び関係法令の遵守と、適正な運営がなされている。	4	4
・個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っている。	4	4
・自己評価を実施し、その結果を公表している。	4	4
・学校の教育情報について、積極的に公開している。	4	4

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	自己評価	関係者評価
・学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っている。	4	4
・学生のボランティア活動を奨励・支援している。	4	4
・学生の地域との交流を奨励・支援している。	4	4
・高校生等の職業意識涵養に努めている。	4	4

(11) 総括

評価項目	自己評価	関係者評価
・学校評価の実施について評価している。	4	4